

看護連盟だより55号に寄せてご挨拶



栃木県看護連盟会長
坂主リツ

栃木県看護連盟の皆様、酷暑続きの夏を乗りきり、実りの秋を迎えられたことと思います。

栃木県看護連盟にとって、大きなイベントであります「55周年式典」が開催されました。栃木県看護連盟を心から応援していただきました功労者・表彰者の皆さまおめでとうございました。日頃のご苦労にたいしまして深く感謝申し上げます。

総会においては、1支部立ち上げが決定となり 16支部を目指して準備中です。会員増と、支部単位の活発な活動が出来るように、連携を密にしているところです。

平成27年度の会員目標 7,200名とし、皆様の絶大なる努力により、8月1日で 7,000名となりました。続けてのご協力と、ご支援をお願いします。

いよいよ第24回参議院議員選挙が目前に迫ってきました。平成27年度日本看護連盟総会において、たかがい恵美子参議院議員が2期目を目指して候補予定者として機関決定されました。たかがい恵美子議員の今までの実績を積み重ねていただき、看護職の力を国民のために信しみなく發揮する時だと思います。

そのためにもたかがい恵美子議員が上位当選し活躍ができるよう、会員一丸となって、各支部の目標数を達成し、栃木県の獲得目標数 7,000票をクリアできるよう頑張りましょう。



日本看護連盟会長
草間朋子

来る6月2日、平成27年度の日本看護連盟の総会を2,000名近い会員のみなさまのご参加の下で、無事終えることができました。活力、熱気にあふれる総会は力強い連盟を印象付けることができ、今後の活動のパワーと エネルギーをいただきました。総会では、来年夏の第24回参議院選挙における候補予定者たかがい恵美子氏を満場一致で決定していただきました。2期目を目指すたかがい議員を高得点で国政の場に送ることが連盟の今年の大きな目標です。

少子超高齢化が加速される中、「チーム医療のキーパーソンは看護職である」と言われてから久しくなります。看護職がキーパーソンであるためには、「看護職が輝く」医療看護の環境を整えていかなければなりません。このためにも、政治の力が不可欠です。

「元気」「活気」「勇気」「根気」をもって、看護政策の実現に向かって一致団結し「連盟の力」を發揮して参りましょう。



衆議院議員
あべ俊子

栃木県看護連盟の皆さま、いつも温かく心強いご支援を賜り心より感謝申し上げます。

この9月で衆議院議員になって10年が経ちました。4期目ともなりますと、活動に無駄がなくなり、選挙区の方々との信頼も構築され、国会内での発言力も大きくなっています。これもひとえに支えてくださる皆さまのおかげです。

第189回通常国会もまもなく閉会します。本国会では以前から取り組んできた、看護学校など高等学校専攻科の修了生が大学に編入できないという問題の関連法案が成立されました。解決に向けて大きく動ききます。

現在は、農業における人材育成と社会保障を中心に、誇らしい日本のこれから制度を作りこんでいます。全国各地に赴き、いろいろなお話を聞かせていただきながら、地方創生元年に、地元岡山をはじめ地方がますます元気であるように、努力しております。

日本をとりまく問題は他にも数多くあります。気を引き締めて政策の実現に努めますので、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。